

2023 年 12 月 1 日  
株式会社ユニテック

## DK-VIEWER の表示選択について

DK-VIEWER はオープニングメニューで作業画面の表示選択 [標準]、[混色 (旧表示)] が可能です。



- ・ [標準]、[混色 (旧表示)] どちらを選択しても表示以外の操作は同じです。  
以下の仕様や制限をご確認の上、ご利用の状況に応じて選択してください。

※Windows8 以降で [混色 (旧表示)] を選択すると、表示速度の低下や  
再表示の繰り返しなど異常発生する場合があります。

- ・ 初期選択の変更も可能です。  
[標準] から [混色 (旧表示)] にする場合  
¥dkviewer¥bin¥magic.ini を削除してください。  
※magic.ini は次回 DK-VIEWER 起動時に再作成されます。

[混色 (旧表示)] から [標準] にする場合  
Windows のメモ帳など、テキストエディタで ¥dkviewer¥bin¥magic.ini へ  
以下コマンドを 1 行追加してください。

%Direct2D:enable

※コマンド末尾は改行

## < [標準] の説明 >

- Windows8 以降で適切に画面表示できる表示方法です。  
※Windows7 でもご利用可能です。
- データの重なり部分は上書き表示になります。
- 塗り込みデータは全てベタ状の表示になります。  
ハッチング破線、実線表示の選択はできません。
- 表示順は表示レベルのレイヤー番号と用途により、以下例のようになります。

最後に表示（一番上）	外形、寸法線層等（レイヤー未設定）
↑	
↑	表面シルク層（レイヤー 1）
↑	表面配線層（レイヤー 1）
↑	表面レジスト層（レイヤー 1）
↑	
↑	内層配線層（レイヤー 2）
↑	内層配線層（レイヤー 3）
↑	
↑	裏面シルク層（レイヤー 4）
↑	裏面配線層（レイヤー 4）
最初に表示（一番下）	裏面レジスト層（レイヤー 4）

- 各データの透過率を変更可能です。  
透過率を変更するとデータの重なり部分を透過できます。  
設定は DK-VIEWER を起動後、[環境-透過設定] 機能で行います。  
詳細は別紙 PDF の「環境-透過設定.pdf」をご参照ください。

---

## < [混色（旧表示）] の説明 >

従来の表示方法です。データの重なり部分は混色になります。

例) 赤色 + 緑色 → 黄色

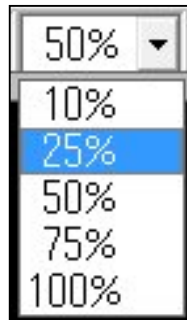
不透過率の設定はできません。

※Windows8 以降で [混色（旧表示）] を選択すると、表示速度の低下や再表示の繰り返しなど異常発生する場合があります。

---

### <画面移動率初期設定の説明>

DK-VIEWER で MPW を読み込み直後のツールバーに表示される画面移動率は P C 毎に設定可能です。



ツールバーの画面移動率設定は 10%、25%、50%、75%、100% の 5 種類です。

- ・読み込み直後の画面移動率を P C 毎に設定したい場合は Windows のメモ帳など、テキストエディタで ¥dkviewer¥bin¥magic.ini へ以下コマンドを 1 行追加してください。magic.ini で未設定の場合は MPW 登録時の設定が反映されます。

%move:25

※コマンド末尾は改行

25% の例。設定値はツールバーの 5 種類（10%、25%、50%、75%、100%）のみ。

注：magic.ini へ追加した行の末尾は必ず改行してください。  
改行していない行のコマンドは無効です。

以上